



平成 17 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社フライトシステムコンサルティング

代表者の役職氏名 代表取締役社長 片 山 圭 一 朗

(コード番号：3753 東証マザーズ)

問 い 合 せ 先 取 締 役 松 本 隆 男

電 話 番 号 03 - 3440 - 6100 (代)

平成 18 年 3 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 16 日に公表した平成 18 年 3 月期中間(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正

(百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	560	40	35
今 回 修 正 予 想 (B)	653	15	19
増 減 額 (B - A)	93	△24	△15
増 減 率	16.8%	△60.9%	△43.6%
前 期 実 績 (平成 17 年 3 月期中間)	546	△18	△28

中間配当金につきましては、当初予定通り配当を行わない予定であります。

2. 中間業績予想数値修正の理由

まず、売上高につきましては、各部門とも順調に推移しており、当中間期の売上高は期初公表予想数値 560 百万円を上回る 653 百万円となり 16.8%上回る見通しであります。

利益につきましては、上半期は製品の開発に関わる研究開発費を大幅に増加した結果、当中間期の経常利益は 15 百万円、当期純利益は 19 百万円となり期初公表予想数値をそれぞれ、24 百万円（60.9%）、15 百万円（43.6%）下回る見通しとなりました。

(1) 事業部門毎の概況

当社はコンサルティング、ソリューションプロダクツ（製品販売）、システムインテグレーション（受託開発）の 3 つのビジネスの融合により事業を営んでおります。

システムコンサルティング事業は、デジタルコンテンツマネジメントやデジタル放送系のシステム構築案件の増加が寄与し、売上・利益ともに引き続き順調に推移しております。

システムインテグレーション事業は、売上高は堅調に推移しており、システムコンサルティング事業との連携強化を軸に様々な施策を打った結果、利益率が徐々に向上してきております。

ソリューションプロダクト事業は、事業立ち上げフェーズからビジネスのフェーズに移行してきており、売上・利益ともに向上してきております。

(2) 研究開発費の増加

フライトコンテンツマネージャやデジタルシネマシステムなどの新製品開発をした結果、26 百万円の研究開発費を上期に集中投資いたしました。この研究開発費の上期での集中投資は下期以降、11 月 1 日に発表した 3 社の子会社化（予定）とのシナジー効果を含め、必ずや収益面で寄与してくるものと考えております。

3. 通期の業績予想

下期受注が堅調に推移しているため、平成 18 年 3 月期通期の単独での業績予想についての修正はありません。

また、平成 17 年 11 月 1 日に発表致しました、株式の取得（株式会社山下電子設計、株式会社ワイ・イー・シー・リサーチ、エレテックス株式会社の 3 社について）が予定通り完了した場合、平成 18 年 1 月 1 日付けで当社の連結対象子会社となりますが、その際の連結での売上高・経常利益・当期純利益の予想につきましては、明確になり次第発表いたします。

（注）業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と異なる場合があります。

以 上